



前向きに生きる力、回復力を強化する

校長 見原 仁

先日、教室の書棚に「なぜ僕らは働くのか」という本が置かれていました。私も発刊当時に読みました。高学年の子どもたちにぜひ読んでほしい一冊です。

特に心に残っているのが、エピローグの次の言葉です。
「これからも君はいろいろな困難や挫折を経験するだろう。でも、そのたびに立ち上がって、前向きに生きていってほしい。大丈夫。すべてがうまくいく人生なんてないし、1つの失敗でやり直しが利かなくなる人生なんてものもないんだ。」

私は、小学生時代は「楽しく過ごしてほしい」と願っています。でも、同時に「思い通りにならない経験をたくさん積んでほしい」とも願っています。なぜなら、小さいうちから「うまくいかない時にどう対処するか」を学んでほしいからです。思春期になれば失敗を怖がり、挑戦への気持ちが薄れます。小さいうちだからこそ、思い切って挑戦できます。そして、失敗したときには解決策を考え、立ち直す経験を積むことができるのです。

また、私は「大丈夫。何とかなる」という言葉をよく使います。職員にも、自分にもです。これは、前向きに考えるためのスイッチのようなものです。「もうだめだ」と思うと行動が止まりますが、「何とかなる」と考えるだけで、次の一步を踏み出せるのです。逆境にあっても前向きに行動できる力、挫折を経験しても再起できる回復力を「レジリエンス」といいます。この「レジリエンス」を強化することこそ、これから生きていく子どもたちにとって大切な基盤になると感じています。

6月の全校朝会で、このレジリエンスについて子どもたちに次のような話をしました。
「皆さんの毎日の授業を考えてみましょう。最初から分かる問題をやることはいいですね。分からない問題を先生や友達と相談しながら勉強しています。つまり、皆さんは毎日挑戦をしています。そして、友達とつながりながら学び合っているのです。」

授業を例に考えてみると、挑戦してうまくいかないことは特別なことではなく、むしろ自然なことです。「面倒なことから逃げず、様々なことに挑戦し、思い通りにいかないことがあったら、誰かに相談し、解決策を考え実行する」。この積み重ねが、子どもたちのレジリエンスを強くしていきます。

今年1年を振り返りながら、子どもたちがどんな挑戦をし、どんなふう乗り越えようとしてきたか、ぜひ話題にしていただければと思います。そして来年は、今年以上に多くの挑戦をし、前向きに生きる力をより一層伸ばしてほしいと願っています。

今年も保護者、地域の皆様から、保内小学校に対し、多くのご支援、ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。よいお年をお迎えください。



ほうない

第8号

村上市立保内小学校
強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋 264-2

TEL 0254-62-2302

FAX 0254-62-5553

school@horai-e.murakami.ed.jp

4年生が橋の学習、鮭の採卵見学をしました



11/18（火）に、村上地域振興局地域整備部の皆様から、社会科の学習で自然災害について学んでいた4年生に「橋の授業」をしていただきました。これは、令和4年8月に大きな被害を受けた水害の復旧工事として、学校の脇にある春木山大沢川の橋を掛け替える工事に関連して行われたものです。

最初に、視聴覚室で地域整備部の皆様から、橋の工事の概要やその意義、工事の仕方などを教えていただきました。その後は工事現場に向かい、橋の作り方について説明を受けました。さらに、橋を架ける作業も間近で見学しました。橋を架ける作業を間近で見学したことで、子どもたちは橋の構造や仕組みを深く理解することができました。貴重な機会をいただいた村上地域振興局 地域整備部の皆様、工事現場の皆様にお礼申し上げます。



また、11/20（木）には、生命のつながりを学ぶ学習として、4年生が鮭の採卵の様子を見学しました。今年も、荒川漁業協同組合のご協力をいただき、鮭の卵を提供いただきました。採卵後、鮭の卵を水槽に入れました。卵はしばらくの間、水槽で過ごします。水槽は黒い紙で覆い、静かな環境を整えました。鮭が産まれたら餌やりをして、3月の放流まで4年生がしっかりと世話をします。荒川漁業協同組合の皆様、貴重な鮭の卵を提供いただきありがとうございました。

家庭科ボランティアの皆様からご協力いただきました



家庭科の学習で、5年生はエプロン、6年生はトートバッグを製作しました。どちらもミシンを使って縫うのですが、担任一人ではなかなか支援が行き渡りません。

そこで、家庭科ボランティアの皆様からご協力いただきました。子どもたちも、困ったときにすぐに教えてもらえるので、大変頼りにしていました。教え方も優しく大変ありがたく感じていたようです。おかげで、学習がどんどん進みました。ボランティアの皆様から、温かいご支援をいただき感謝申し上げます。

6年生がキャリア教育の学習を進めています



6年生は、総合的な学習の時間「未来に向けての自分」の学習で、将来の自分を考える学習の一環として様々な職業について学んでいます。10月末から11月にかけて保育士、元サッカー選手、トリマーの方からお話をうかがいました。

子どもたちは、お一人お一人のお話をよく聞き、メモを取っていました。最後には質問の時間があり、たくさんの子どもたちが質問をしていました。

多くの子どもたちが、将来になりたい職業や夢をもっています。その実現に向けての苦労や努力の必要性を強く感じていたようです。お力添えをいただき感謝いたします。

子どもたちの活躍を紹介します！

◎ 新大全国硬筆大会

- 特選 6年 河内 理桜
- 4年 高橋 美和
- 準特選 5年 大矢 一花
- 2年 山田 羽優

◎ 新大全国競書大会

- 準特選 5年 塚野 杏奈

◎ 第56回新潟県ジュニア美術展覧会

- 優秀賞 3年 松田 清楓
- 奨励賞 1年 小柳 深央
- 3年 木村芽愛梨 富樫 悠愛
- 4年 渡邊日奈太
- 5年 富樫 梨紗
- 6年 渡邊 花乃



◎ 税に関する絵はがきコンクール

- 努力賞 6年 阿部 風夏

2年生がさつまいもパーティをしました



11/28（金）に、2年生がサツマイモパーティをしました。このパーティは、サツマイモづくりでお世話になった老人クラブの方や、まちたんけんでインタビューにお答えいただいた皆様をお招きして、パーティを企画したものです。

まず、2年生だけでサツマイモ入り蒸しパンやクッキーを作りました。その後、学習にご協力いただいた皆様をお招きして、パーティを始めました。クイズや歌のプレゼントを行い、お招きした方々と一緒にサツマイモ入り蒸しパン、クッキーを食べました。最後に、子どもたちが、直接お礼の言葉を伝え、閉会になりました。

参加した皆様からは「感動しました」「元気をもらいました」など、温かい言葉をたくさんいただきました。学習にご協力いただいた皆様から、お力添えをいただいたおかげで、子どもたちの学びがより深まりました。ありがとうございました。

3年生が地域のお祭りを学びました



3年生が総合的な学習の時間で「荒川のまちの宝を守ろう」という学習をしています。12/3（水）には、お祭りに披露される上・下鍛冶屋、坂町の獅子踊り、佐々木の神楽について、地域の方をお招きしてお話をうかがったり、実際に踊りや衣装を見せていただいたりしました。この地域には、様々な踊りやそれに関する道具があることを知り、多くのことを学びました。

最後には、実際に獅子をかぶったりお面をつけたり、太鼓をたたいたりして体験もさせていただきました。ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。